**防災地学特論　１０. 台風による災害 課題**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学籍番号 | 7521537 | 氏名 | 寺原伸哉 |

以下の３つの課題について解答せよ。課題の文字数の制限はないので、足りなければページを増やしてよい。

1. 台風は、発達に伴い風が強くなるが、これは空気の運動エネルギーが大きくなっていくということである。この時のエネルギー源について説明せよ。

―――――以下課題１解答欄―――――

台風のエネルギー源は多量の水蒸気が凝結するときに放出される潜熱である．台風は熱帯の海洋上で発生・発達する．つまり，暑いところの空気のため，多量の水蒸気を含んでいる．よって多量の水蒸気の凝結による潜熱により，空気が暖かくなる．台風はこの水蒸気量が多く，水蒸気の凝結が盛んに行われるため，より空気が軽くなる．よって気圧差が大きくなる．気圧差が大きいと風が強くなり，風が強いということは空気の運動エネルギーが大きくなる．

1. 台風情報の台風経路図において、台風の予報円は、1日先、2日先となるにつれて、だんだん大きくなっていく。これは何を意味しているのかを説明せよ。

―――――以下課題２解答欄―――――

台風の予報円とは，円内に台風の中心が入る確率が70%ということである．つまり予報円が大きくなるというのは，先の予報ほど精度が悪くなり，台風の行方が予測しづらいということである．

1. 第7回から第10回までの気象災害（雷、竜巻、大雨、台風）に関する授業についての感想や意見など、なんでも自由に書いてください。

―――――以下課題３解答欄―――――

普段見る気象現象の原理を知る機会になった．また，災害に対する予測方法などを知ることができた．今回の授業の台風の予報円に関して，よくニュースの気象情報で見るものであったが，台風の位置を示すものだと思っていた．台風の予報円の定義について知ることができ，日常のニュースを見る際の知識として活かせると思った．